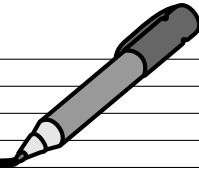


編集後記



■6月号の編集後記で、お弁当箱を買うのは好きなのになかなか活用できていないということを書きました。情けない話を公にしたままというのも癪で、ここ数ヶ月はできるだけお弁当を作るようにしています。制限時間は15分、野菜中心、冷凍食品は1品のみ可、大好きな卵焼きは必ず入れる。これらが私のお弁当のルールです。

悩みの種は何と言ってもマンネリ化。何を作るのかを考えずにただ安い食材を購入するので、お弁当に入るのがいつも同じ素材になってしまうのが辛いところです。楽しい昼食時間となるかは自分次第。料理の腕でカバーできるよう修行あるのみです。(K. A)

■今年ももう3月、というわけで寒い冬を越えて清々しい春を迎えました。暖かくなり、日も長くなるにつれ、気持ちが行動的、意欲的になりますね。今年の春は、デジカメ片手に、万博公園の梅や大阪城公園の桜を見に行きたいと思っています。特に、春の風物詩であるお花見は、開花時期が年度初めとなるため、毎年バタバタしている間に満開の時期を逃してしまっています。月夜桜をめながら、景色を肴にお酒を1杯なんかいいですね。やっぱり、私は花より団子かな。(A. F)

■2年間の研修生生活が、3月末で終わろうとしています。

思い出は、たくさんありますが、特に、東京出張は強烈なインパクトが残りました。総務省にも何度か出張する機会をいただきました。市町村のPFI事業について、当該市町村の事業への思いを、一生懸命、国に伝えたつもりです。

初めての東京出張は、市町村課に来て、まだ1ヶ月程度しか経っていないときでした。右も左もわからないだろうと同行して下さった市町村課の上司の方から、帰りの新幹線でシュウマイをご馳走になり、その味は今でも心に残っています。その後の東京出張は、一人で新幹線に乗ることが多かったのですが、帰りにそのシュウマイを食べることを秘かな楽しみにしていました。「もう、あのシュウマイを食べることはないのかなあ」と思うと淋しくなります。

市町村課の皆さん、そして、お世話になった市町村の皆さん、2年間、本当に有難うございました。(K. N)

編集庶務は大阪府総務部市町村課
総務・企画グループで行っています。

〒540-8570

(府庁の専用郵便番号ですので、
住所の記載が省略できます。)

☎ 06-6941-0351 (内線2228)

06-6944-6096 (市町村課直通)

サマージャンボ宝くじ

オータムジャンボ宝くじ

～市町村のまちづくりに役立っています～

月刊「自治大阪」の発行は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用しています。

